



さとのかせ

NO. 160

千葉県いすみ環境と文化のさとセンター

9月号 2008年9月1日発行

編集・発行 千葉県いすみ環境と文化のさとセンター

〒298-0111 千葉県いすみ市万木 2050 番地

TEL 0470-86-5251 FAX 0470-86-5252

URL <http://www.isumi-sato.com/>

知っていますか?!十五夜の団子盗み



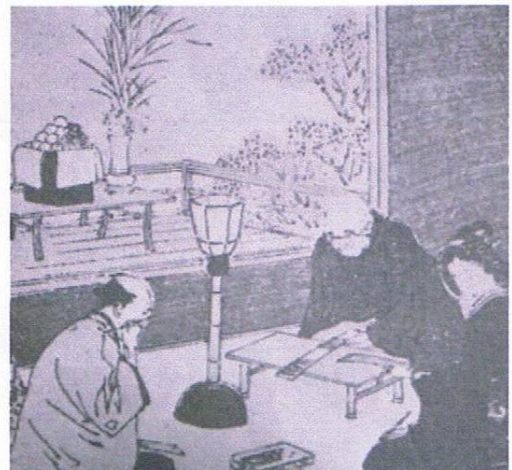
月見の座「大和耕作絵抄」

風習は、遠く離れた沖縄の地にもあったとか。子どもたちを神様に見立て、供物を食べてもらうという意味合いがあったのだろうと言われています。十五夜と一對の行事、十三夜(10月11日)でも団子盗みは行われたそうです。ところで十五夜の別名は「芋月見」。その名の通り、供物に

にこの団子盗みの

欠かせないものはサトイモやサツマイモな

どの芋類です。また十三夜は「栗月見」と呼ばれ、供物にはクリが用いられました。今年は古人に習い、十五夜の名月を愛でる心のゆとりを持ってみませんか。



月見の座「風俗十二ヶ月」

供物に欠かせないサトイモ



★★★☆☆★★★☆☆★★★☆☆
8月のセンター行事

☆☆☆☆★★☆☆☆☆☆☆☆☆

- 『夏の星座を見てみよう』2日(土)
- 『草木染め体験』3日(日)
- 『トンボの沼のトンボたち』23日(土)

《夏の星座を見てみよう》

参加者は18名。そのうち小中学生が約半数を占めました。お天気に不安があった今回の「夏の星座を見てみよう」ですが、午後7時の集合を待ちかねるお孫さんに急かされ、1時間前にセンターへ到着したというご家族もいて、盛況でした。



星座早見盤に興味津々

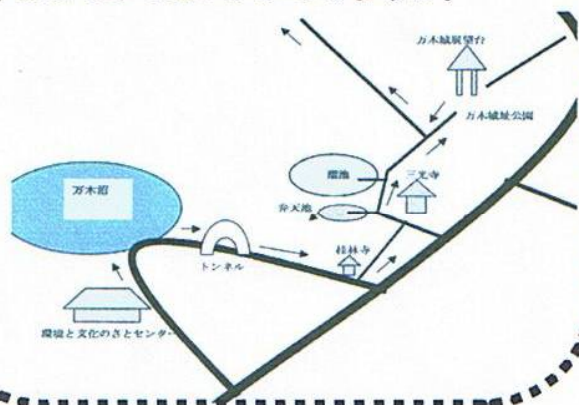
図書室で8月の夜空、星座について、資料と映像で学び、星座早見盤の使い方を指導されたのち、一人ひとり星座早見盤を手渡されてセンター前の駐車場に移動。まず東西南北を確認し、つづいて夏の大三角形を形づくる星を含む白鳥座(デネブ)、わし座(アルタイ)、こと座(ベガ)を確認。夏の三角形とは、この3星を結んでできる三角形を言う。「この3つの星座は覚えておいてください」と芝崎先生。その後3星までの距離、星の色と温度など、興味深いお話が自然観察指導員の塚さんからされ、参加者は星への興味をますます募らせたのでしょ。秋や冬の星座も見てみたい。観察会を開いて欲しい」という声が聞かれました。

センターピックアップ 9月

＜万木城跡公園へ新道完成＞

万木城のお願い薬師寺として知られる三光寺の弁天池から、上の溜池を経て万木城跡公園に至る道が整備されたことをご存知ですか。さらに弁天池には中央に四阿(あずまや)が作られ、その上の溜池にも一休みできるベンチが作られました。秋の散策にお勧めします。

コースは、センターから万木沼、湿性生態園を経てトンネルを抜け、かつての万木城主・土岐為頼の奥方の菩提寺桂林寺から三光寺、弁天池、溜池を過ぎ、杉木立の中の階段道を上り、天守閣をかたどった展望台のある万木城跡公園まで。時間にして約30分。道端の秋草を愛で、歴史を刻む二寺を訪ね、杉木立に包まれたほの暗い道を上りきり、万木城公園の展望台に上ると360度の一大パノラマが開けます。秋風に吹かれながら、いすみの豊かな自然と美しさを満喫してください。さらに余力のある方は、海雄寺へ足を伸ばしてみてくださいはいかがでしょうか。



《草木染め体験》

参加者は女性8名、男性2名の計10名。講師は谷田明子さん。センターの和室に集合し、まずは染液と媒染液の関係が説明され、センターの一角に茂るセイタカアワダチソウの採集へ。採集したセイタカアワダチソウと、タマネギの皮をそれぞれ大鍋で煮出して染液とし、媒染液には焼きミョウバンと鉄漿がつかわれました。染液を煮出している間に、布を割り箸や豆、輪ゴムを使って絞ります。絞ったところが白く残り模様となるのです。実際にどんな模様ができるのか、布をほどいてみるまで分かりません。絞り終わった布を染液に30分ほど漬けたのち媒染液に移して20分。絞りをほどこき、水洗い後干して完成です。嫌われ者のセイタカアワダチソウが優しい黄緑色(焼きミョウバン媒染)や、しゃれた銀ねず色(鉄漿媒染)に。タマネギの皮は鮮やかなオレンジ色(焼きミョウバン媒染)や渋いグレイ(鉄漿媒染)に染まるなど、草木染めは、自然の草木のもつ秘められた色を見つけ出す喜びがありました。

興味深かったのは草木染めを「ボードに使いたい」と参加したサーファーの小畑さん。サーフボードと草木染めを組み合わせる発想が魅力的。出来上がったらぜひ見せてもらいたいものです。



でき上がった作品を前に一同大満足でハイ、パチリ

《トンボの沼のトンボたち》

捕獲したトンボとともに記念撮影

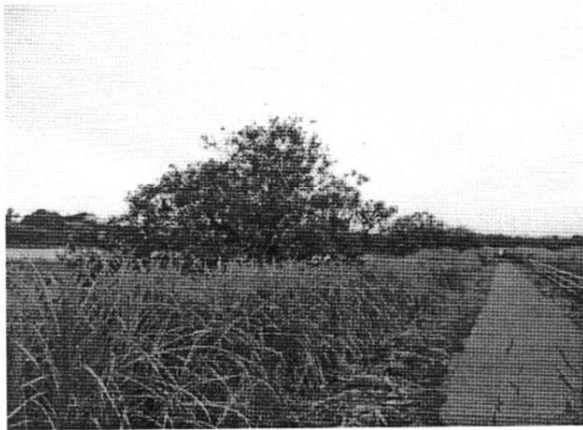


参加者は、3歳の和佳ちゃんを連れて東京から参加した橋本さん一家と、中村さんご夫婦の2家族5名。堺自然観察指導員が捕獲等の説明後、各自網を持ち捕獲ポイントの四阿へ向います。途中沼に茂るフトイやガマなど、植物観察をしながら木道を進み四阿へ到着。さそく網を振り、アオモンイトトンボ、モートンイトトンボ、アジアイトトンボの3種のイトトンボを捕獲。鮮やかなコバルトブルーに黄、緑と、思いがけない鮮やかな色合い

のイトトンボに感激。さらに、第2の捕獲ポイント・西岸の広場へ向かう途中では雌雄のノシメトンボを捕獲。しかしコシアキトンボは見かけたものの、素早すぎて捕獲できません。そのうちに雨が激しくなり、捕獲を断念して管理棟へ戻り、捕獲したトンボを逃がして解散となりました。

管理棟には多くのトンボの写真をはじめ、沼に生息する多種類の魚の一覧表がありました。しかし、今回見る事ができたトンボはわずか。魚影も見えません。沼面覆い尽くしそうなスイレンやアシのため、トンボが産卵できる環境は無くなってしまっているのでは・・・、と不安になりました。(大東 悠子)

和泉-日在浦だより 子ガメの孵化脱出始まる (2008年9月1日)



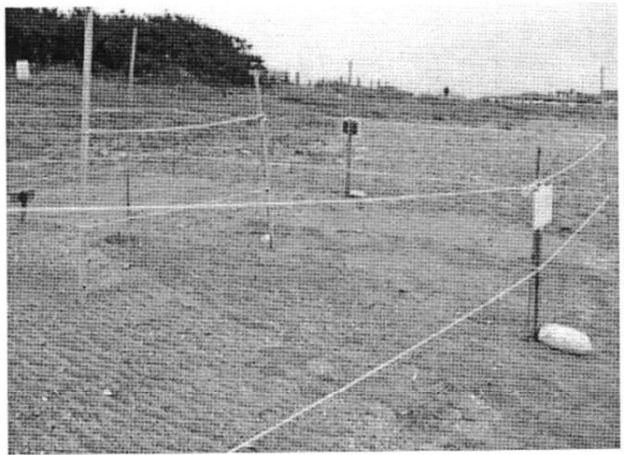
日在潟の夾竹桃 (8月13日)

[猛暑日続き降雨不足の夏]

昨年が増えて今夏は猛暑となり、海岸近くでも熱帯夜が続きました。いすみ市周辺では8月末にやっと雨が降りましたが、珍しく9月初めまで台風被害がなく砂浜が流出することがなかったのは幸いです。生態系にも日照り続きの影響が現れ、例年は6-7月頃花が見られる夾竹桃や百日紅が8月以降に開花し、今真っ盛りです。

[順調な子ガメの孵化・脱出]

「日在-和泉浦の海を育みウミガメを守る会」や「カレッタいすみ」の会員とウミガメ保護に熱心な市民たちが5月以降毎日海岸のパトロールと漂着ゴミの片づけを実施し、いすみ市農林水産課水産班と一体となってウミガメ保護活動を推進しています。今年は全国的にウミガメ上陸・産卵の飛躍的増加が報じられる中、いすみ市でも8月31日現在アカウミガメは上陸足跡確認17回、うち産卵は10回となっています(昨年度は上陸8回、産卵6回)。8月17日から子ガメの孵化脱出(6/15産卵巣)が始まり、以降8月31日現在産卵巣4ヶ所から子ガメたちが海へと旅立った足跡が多数確認されています。



今年最初の子ガメ孵化脱出跡(8/17)

[懸念される砂浜の砂の減少]



産卵諦めたアカウミガメの上陸足跡(北岸8/17)

2005年以降浜辺の砂が著しく減少し、アカウミガメが産卵する5kmの海岸全体にわたり砂浜奥の台地で高さが減ってしまったため、今年産卵巣10ヶ所のうち高さが不十分な3ヶ所は市職員(ウミガメ採捕責任者)により砂浜の高所に卵が移植されました。千葉県が夷隅川河口三角州の堆積砂泥を平成15-16年度三軒屋海岸に移設・養浜した実績があり、

明年以降入江の堆積砂泥を浚渫し海岸側に移設・養浜する等、ウミガメが産卵できる砂浜を確保してゆくことが緊急の課題になっていると筆者は考えています。

[森谷 淵 (もりや ふかし)]

◎今、いすみでは???

今日は8月30日、もうすぐ夏休みも終わります。8月始めには、地元、国吉中学校の2年生5人が職場体験にやってきました。園内の草刈りや、水槽掃除、標本整理を手伝ってくれました。5人とも生き物が好きで、園内を観察中には、いち早くいろんな生き物を見つけて、教えてくれました。将来は生き物に携わる仕事に就くことを希望している生徒さんもありました。最近の子供たちは自然との関わりが少ないと言われる中で、とても頼もしく、そして嬉しく思いました。



職場体験で来園した国吉中学校の皆さん



タコノアシの花

今、センターの昆虫広場にある水路沿いには、タコノアシが白い花をつけています。本当にタコの足をひっくり返したような形で小さな花がついています。センニンソウの白い花が、いたる所で満開です。甘い匂いがほんのりと漂っています。ハス園のハスは、そろそろ花が終わり、実をつけ始めています。



フクラスズメの幼虫

湿性生態園には、ハナタデ、ユウガギク、マコモ、ガマが咲いています。キャンプ場水路沿いのカラムシには、カラフルなフクラスズメ(ガ)の幼虫も出てきました。稲刈りも間もなくで秋の訪れを感じます。

(堺 勇人)



ツノトンボ
(ツノトンボ科)

今月の

見い~つけた!

No.5

昆虫広場にある雑木林近くの草に止まっているのを、職場体験に来ていた中学生がを見つけました。大きさ3cm ぐらいで、トンボに長~い触角をつけたような格好をしています。トンボと名前がついていますが、じつはカゲロウの仲間です。オスは、捕まえると独特の臭いがするそうです。残念ながらこのときは臭いを嗅げませんでした。どんな臭いがするのでしょうか…?

(堺 勇人)

あなたの見つけた生きもの、教えてください!

当センターに来られて、気になる生きものを見つけたら、
ぜひ教えてくださいネ!!

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇
9月の行事案内

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇
☆『米づくり・稲刈りをしよう』定員40名
日 時 7日(日)9:00~14:00 雨天中止
場 所 ネイチャーセンター
参加対象は小学3年生以上
持ち物 鎌、タオル、軍手、長靴、長袖の服、お弁当

☆『竹かご教室』全5回のうち① 定員20名
日 時 28日(日)9:30~16:00
場 所 ネイチャーセンター
参加対象は高校生以上。全5回参加できる方。途中参加はできません
持ち物 竹割り、竹ひきのこぎり、剪定ばさみ、軍手、膝当て、お弁当

<10月の行事予定>

- ☆『竹かご教室』②
4日(土)
- ☆『竹かご教室』③
5日(日)
- ☆『竹かご教室』④
11日(土)
- ☆『竹かご教室』⑤
12日(日)



☆『芋掘りをしよう』定員40名
日 時 18日(土)9:30~13:00 雨天順延10/19
場 所 ネイチャーセンター
持ち物 軍手、長靴、移植ごて、お弁当

いすみ楊枝

—千葉県伝統工芸品—

日 時 9月21日(日) 9:30~16:00
場 所 ネイチャーセンター
講 師 高木 守人氏
参加料 無料
内 容 楊枝・花入れ・茶杓作り

センターでは、千葉県伝統的工芸に指定されている「いすみ楊枝」を、県内外に広く紹介するために毎月1回、高木守人氏に実演をしていただきます。次回は10月19日(日)です。

11月の行事予定

『わらで置物細工をつくろう』
9日(日)9:30~15:00 定員20名
『第12回さとの文化祭』
15日~24日(月振替休)まで開催。
作品の搬入は10月25日(土)~11月3日(月祝日)まで。作品の応募についてはセンターへお問い合わせください。

*9月2日(火)より申し込み受け付け開始

行事への参加申し込み、お問い合わせは、電話(0470-86-5251)、ファックス(0470-86-5252)、または、直接センター事務室にお申し出下さい。定員のあるものについては、定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。

* eメール可(メールアドレス: info@isumi-sato.com (@は全角です))

* 行事申し込み後、都合によりキャンセルする場合は必ず早めにセンターまでご連絡下さい。

*「さとのかぜ」の定期購読を希望される方は、郵便代として、80円切手12枚、または960円にて受付ます

◆ ◆ ◆ 利用案内 ◆ ◆ ◆

休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、12月29日~翌年1月3日
開館時間: 9:00~16:30、入館料: 無料
なお、団体で案内や解説などを希望される場合は、2週間前までにお申し込み下さい。